

報道関係各位

2025 年 6 月 19 日

AKT/O
UNDERAGE
BEACH VOLLEYBALL
ACADEMY

アクティオが中・高校生を応援！ビーチバレーボールを通して若者のチャレンジを支援します！
「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」vol.11 を開催しました

株式会社 アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、ビーチバレースタイルが主催する、部活動でビーチバレーボールに取り組む中・高校生を対象にしたイベント「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」に冠協賛をしております。今回で 11 回目となるアカデミーを 2025 年 6 月 15 日(日)に白浜海水浴場(青森県八戸市)で開催いたしました。

アクティオは「ジャパンビーチバレーボールツアー2025」のツアーオフィシャルスポンサーおよび学生全日本選手権「アクティオ杯 ビーチバレーボール・ジャパン・カレッジ 2024 第 36 回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会」の冠協賛や、「アクティオワイルドカード」制度など、学生大会からプロ大会まで幅広く協賛し、日本のビーチバレーボール界の発展に貢献をしてきました。

今回の「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」vol.11 では、現役のプロビーチバレーボール選手とプロコーチが、部活動でビーチバレーボールやインドアのバレーボールに取り組む中学生・高校生を対象に、試合での戦略や戦術、コンビネーション、勝利への考え方などについて実践形式で指導を行いました。練習試合を通じ、プロから直接アドバイスを受けることで参加した生徒達にとって貴重な経験となりました。

アクティオは、ビーチバレーボールへのスポーツ協賛を通じて、日本における若者のチャレンジする場を広げ、世界に飛躍していく人材育成や挑戦する機会を作っていきます。



AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミーvol.11 の様子(写真/ビーチバレースタイル)

アクティオは、今後もスポーツを通じて豊かな社会に貢献する活動を続けてまいります。

■参加した学生のコメント

プロのビーチバレーボール選手から直接、指導を受けるのは初めてだったので、色々学ぶことができ、有意義な時間でした。特にビーチバレーボールは風など天候に左右されるスポーツなので、打ち方など第一線で戦っているプロ選手からのアドバイスはとても勉強になりました。

■講師のコメント

牛尾正和氏

ビーチバレーボール初心者が多いと聞いていましたが、教えれば教えるほど吸収し、アカデミー終盤ではきちんと形になったので、若い世代は成長するスピードが速いと改めて感じました。



立谷純太郎選手

今回、メイン講師を詫間選手と初めて務めました。学生の皆さんが今後活かせるように、なるべく多くの学生と触れ合い、指導を行いました。東北出身なので東北の若い世代に教えることができ、良かったです。



詫間悠選手

「できなくても、まずはやってみる」を今回のテーマにメニューを考え、取り組みました。参加した学生たちも真剣に楽しくプレーをしてくれたので、良かったです。



■当日の様子



■「AKTIO アンダーエイジ・ビーチバレーボール・アカデミー」vol.11 概要

日 時	2025 年 6 月 15 日(日)
会 場	白浜海水浴場(青森県八戸市)
内 容	・開会式(協賛社挨拶／講師紹介など) ・ウォーミングアップ／基本練習／応用練習／ゲーム練習 ・閉会式(講師挨拶／表彰・贈呈／記念撮影)
参加者	中学生・高校生男女 47 名
講 師	牛尾正和氏、立谷純太郎選手、詫間悠選手
主 催	ビーチバレースタイル(ビーチバレーボール専門誌) https://bvstyle.net/wp/aktio/
協 賛	株式会社アクティオ

■ビーチバレーボールとは

ビーチバレーボールは、屋外の砂の上に 16m×8m のコートを設置し、1 チーム 2 人が裸足でバレーボールを行う競技です。3 セットマッチで、第 1、2 セットは 21 点、第 3 セットは 15 点、2 セット先取したチームが勝ちとなります(タイブレークの場合は 2 点差がつくまで)。

1996 年アトランタオリンピックから正式種目になり、エキサイティングでエンターテインメント性の高い競技性が数多くの観衆を魅了しています。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介しています。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっきくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、

状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp